



10月のほけんだよ!

令和6年9月30日
九度山保育所

ようやく秋の気配が近づき、朝夕の風が気持ちよく感じるようになってきました。その分、夏の疲れが出やすい時期です。園でも、鼻水や咳をしている子がいます。以前にもお伝えしましたが、熱がないから大丈夫と過信せず、いつもよりゴロゴロしていて元気がない、鼻が詰まって夜あまり眠れていないなど、体調に変化があった場合は休息し、様子を見てあげてください。子どもは、大人と違い体調が悪くても言葉で伝えることが難しいので、大人が気をつけてあげましょう。

薄着の習慣は秋からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする



大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

家族みんなでガラガラうがい



かぜの予防に大切なうがいですが、習慣づけるのはなかなか大変ですね。まずはお母さん、お父さんがやって見せるのがいちばん! 外から帰ったらすぐ「一緒にやろう」とお子さんを誘ってください。みんなでガラガラすれば、かぜなんかこわくない! 小さい子は、口に水を含んで「ペツ」と吐き出すだけでも効果があります。

鼻水が長引くのは病気のサイン!?

鼻は呼吸や病気の予防に役割を果たす大切な気管。気になる症状があったら、耳鼻科を受診しましょう!



かぜをひいていないのに、しょっちゅう鼻が詰まったり、鼻水が出たりしている



→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などの疑い

鼻詰まりがあり、しきりに耳を触る



→急性中耳炎の疑い

いつも目やにや鼻水が出ている



→鼻涙管閉そくや結膜炎の疑い